

地域に根ざした研究を進めています

秋 田 県 果 樹 試 験 場

Akita Fruit-Tree Experiment Station

【 要 覧 】



本 場



天 王 分 場



か づ の 果 樹 セ ン タ ー

～秋田は高品質な果実の生産地～



リンゴ



モモ



ニホンナシ



ブドウ



オウトウ

秋田県は、北東北の日本海側で北緯40度線が県中央を横断し、南北に181 km、東西に111 kmにおよび、気象、土壌などが異なる地域で果樹栽培が行われています。

果樹試験場は、県果樹産業の振興に貢献する技術開発を行う目的で設置され、本場（県南部）、天王分場（県中部）、かつの果樹センター（県北部）が緊密な連携の下に試験研究と果樹産業の担い手育成を実施しています。

沿革

■本場

大正13年 秋田市八橋に農事試験場が果樹試験地を設置
 昭和32年 八橋果樹試験地を廃止し、平鹿郡醍醐村（現、横手市）の秋田県果樹試験場を設置
 昭和38年 係・科制を置く（庶務係、栽培科、園芸化学科、病害虫科）
 昭和49年 品種改良科を設置
 昭和57年 全面改築、竣工
 昭和58年 部制を置く（管理部、栽培部、環境部）
 平成18年 秋田県農林水産技術センター果樹試験場（管理室、リンゴ部、特産果樹部）に改称
 平成19年 分場が管理室の下に置かれ、鹿角分場班、天王分場班に改称
 平成24年 秋田県果樹試験場に改称、管理室を総務企画室に改称
 平成26年 リンゴ部、特産果樹部を品種開発部、生産技術部に再編

■天王分場班

昭和33年 南秋田郡天王町に秋田県果樹試験場天王分場を設置
 昭和60年 全面改築、竣工
 平成18年 秋田県農林水産技術センター果樹試験場天王分場に改称
 平成19年 天王分場班に改称
 平成24年 秋田県果樹試験場天王分場班に改称

■かつの果樹センター（鹿角地域振興局農林部農業振興普及課果樹産地支援班）

昭和32年 鹿角郡花輪町（現、鹿角市花輪）に秋田県果樹試験場花輪分場を設置
 昭和53年 花輪分場を鹿角分場に改称
 昭和55年 鹿角市花輪合ノ野から小坂野に改築移転
 平成18年 秋田県農林水産技術センター果樹試験場鹿角分場に改称
 平成19年 鹿角分場班に改称
 平成22年 鹿角分場班を鹿角地域振興局農林部農業振興普及課果樹産地支援班（かつの果樹センター）として再編

位置・気象

※気象データは、2008～2017平均値（積雪・消雪日は2018）

本県の県庁所在地、秋田市の年平均気温は11.9℃、年降水量1,935mm、日照時間は1,600時間です。本場、天王分場、鹿角果樹センターの気象概要は下表とおりです。

	本場 横手市	天王分場 潟上市	かつの果樹センター 鹿角市
年平均気温	11.0℃	11.6℃	9.5℃
年降水量	1,664 mm	1,468 mm	1,380 mm
日照時間	1,519 時間	1,565 時間	1,701 時間
最深積雪	190 cm	33 cm	103 cm
消雪日	4月4日	3月9日	3月30日
土壌	多湿黒ボク土	砂丘未熟土	黒ボク土
標高	85 m	7 m	155 m



リンゴの花

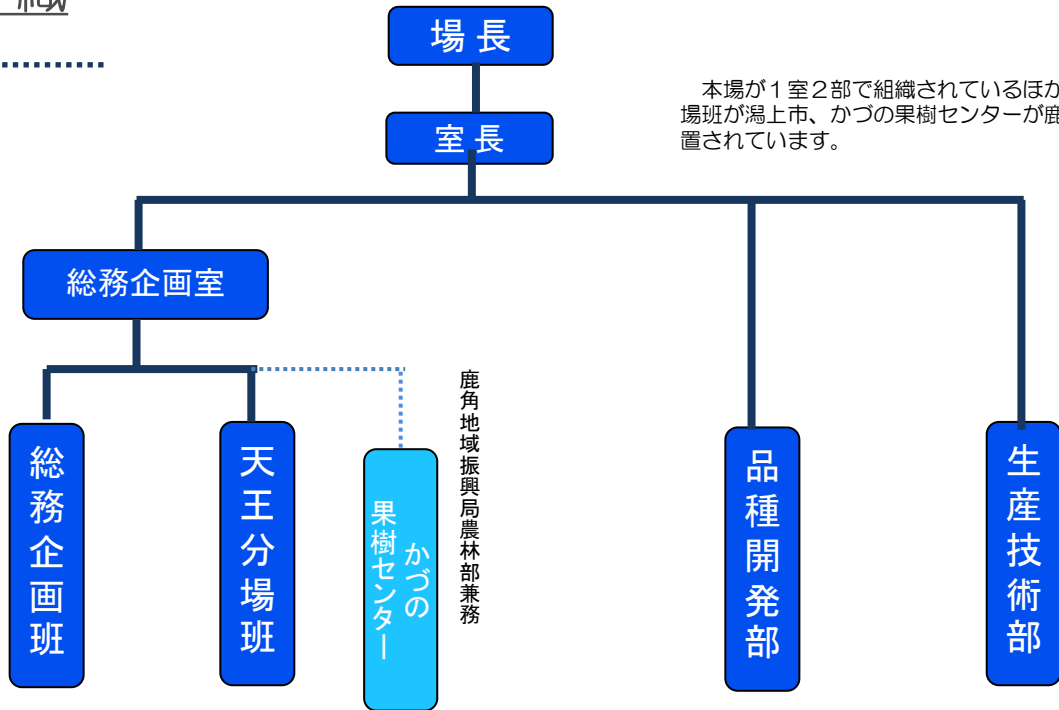


モモの花



オウトウの花

組織



本場が1室2部で組織されているほか、天王分場班が湯上市、かづの果樹センターが鹿角市に設置されています。

施設の概要

本場は7haを超える規模を有し、リンゴを主体としながらブドウ、オウトウ、モモなどが栽培されています。また、天王分場はニホンナシ、ブドウ、かづの果樹センターはリンゴとモモが主な樹種となっています。

■用地

※2019.4時点の数値

区分	本場	天王分場	かづの果樹センター
ほ場	67,120 m ²	38,000 m ²	83,000 m ²
建物敷地	2,724 m ²	1,598 m ²	1,774 m ²
道路・防風林・他	7,908 m ²	59,645 m ²	19,380 m ²
計	77,752 m ²	99,243 m ²	104,154 m ²

■樹種別ほ場面積

区分	本場	天王分場	かづの果樹センター
リンゴ	43,300 m ²	0 m ²	30,000 m ²
ナシ	1,200 m ²	13,100 m ²	0 m ²
ブドウ	6,930 m ²	4,700 m ²	0 m ²
オウトウ	5,400 m ²	0 m ²	0 m ²
モモ	4,960 m ²	0 m ²	14,300 m ²
ブルーベリー	1,000 m ²	0 m ²	2,000 m ²
その他	4,330 m ²	20,200 m ²	36,700 m ²
計	67,120 m ²	38,000 m ²	83,000 m ²



品種開発部

リンゴ新品種の育成や、本県の気候風土に適した樹種および品種・系統の選定、秋田県オリジナル品種の栽培技術や貯蔵技術を開発します。

【主要な研究課題】

- 1 果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜
- 2 秋田県に適した樹種および品種の導入に関する調査や研究
- 3 オリジナル品種の普及定着に関する調査や研究
- 4 オリジナル品種の長期貯蔵技術の開発



長期貯蔵用の晩生種、みつ入り多い

■県育成リンゴ品種「秋田19号」



■りんご実生の食味試験

1-MCP処理中の「ゆめあかり」



■1-MCPによる「ゆめあかり」の 長期貯蔵技術の開発



有望視される「紅ゆたか」

■オウトウの品種比較試験



生産技術部

気象変動に負けない果樹栽培技術の確立や、環境調和型病害虫防除技術、土壌・施肥管理技術の確立を目指しています。

【主要な研究課題】

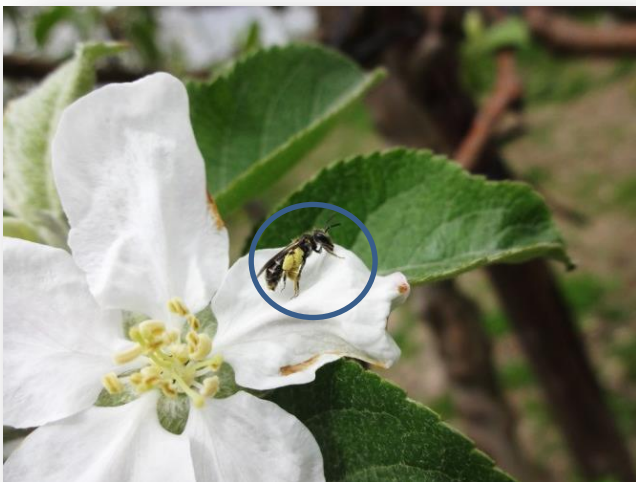
- 1 地域に適した早期成園化の推進による「強いりんご産地」づくり
- 2 大雪による樹体被害を省力的に回避する技術の確立
- 3 農業における花粉媒介昆虫等の積極的利活用技術の開発
- 4 リンゴの収穫果および貯蔵果に生じる黒斑症状の原因究明と防除法の確立



■ 地域に適した早期成園化の現地実証



初冬に主枝を地面に伏せ越冬後に枝上げを実施
■「シャインマスカット」の冬期倒伏栽培法



■ 受粉に重要な野生のハナバチ類



果実の症状



菌の培養

■ リンゴ黒星病防除技術の確立



天王分場班

県中央部の環境条件に適合するナシの新品種選抜や、高品質安定生産技術、病害虫防除技術を確立します。

【主要な研究課題】

- 1 県育成二ホンナシ「秋泉」の産地化を加速する早期成園化技術の確立
- 2 二ホンナシの紫変色枝枯れ症対策技術の確立
- 3 二ホンナシの貯蔵技術の開発



■県育成二ホンナシ「秋泉」



■二ホンナシの新品種・系統適応性調査



砂質土壌における二ホンナシのジョイント栽培試験

■ジョイント栽培による早期成園化



■二ホンナシの紫変色枝枯れ対策試験



かづの果樹センター

県北部の環境条件に適合する樹種や品種の探索、導入およびそれらの栽培管理法や病虫害防除法を確立します。

【主要な研究課題】

- 1 「かづの北限のもも」安定生産技術の開発
- 2 地球温暖化における寒冷地果樹の凍害防止技術の確立
- 3 DMI 剤感受性低下菌対策を主眼としたリンゴ黒星病防除技術の開発



■「かづの北限のもも」の安定生産技術の確立



■モモの主幹凍害対策に関する試験



鮮やかな赤色で酸味少なくジューシーな果実

■県育成リンゴ「秋田紅あかり」



果実の症状



■リンゴ黒星病DMI剤感受性低下菌対策

ほ場は、1号から32号まで区分され、樹種や試験内容によって効率的に配置されています。

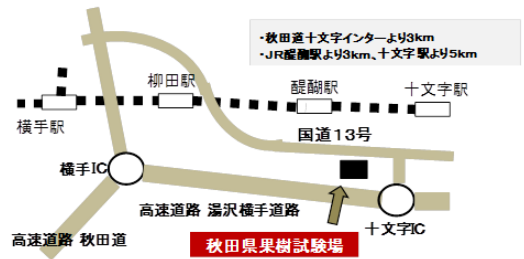


【本場】

〒013-0102

横手市平鹿町醍醐字街道下65

TEL 0182-25-4224 FAX 0182-25-3060

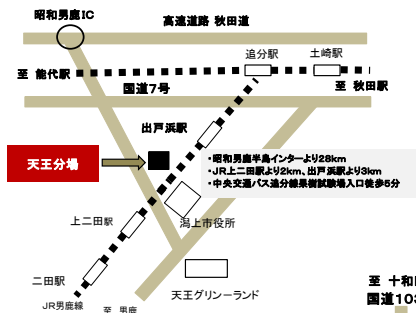


【天王分場】

〒010-0201

潟上市天王字鶴沼台43

TEL 018-878-2251 FAX 018-878-7446



【かづの果樹センター】

鹿角地域振興局農林部農業振興普及課 果樹産地支援班

〒018-5201

鹿角市花輪字小坂野3-12

TEL 0186-25-3231 FAX 0186-25-3232

